

第2章 根室市の現状

1 地域の現状

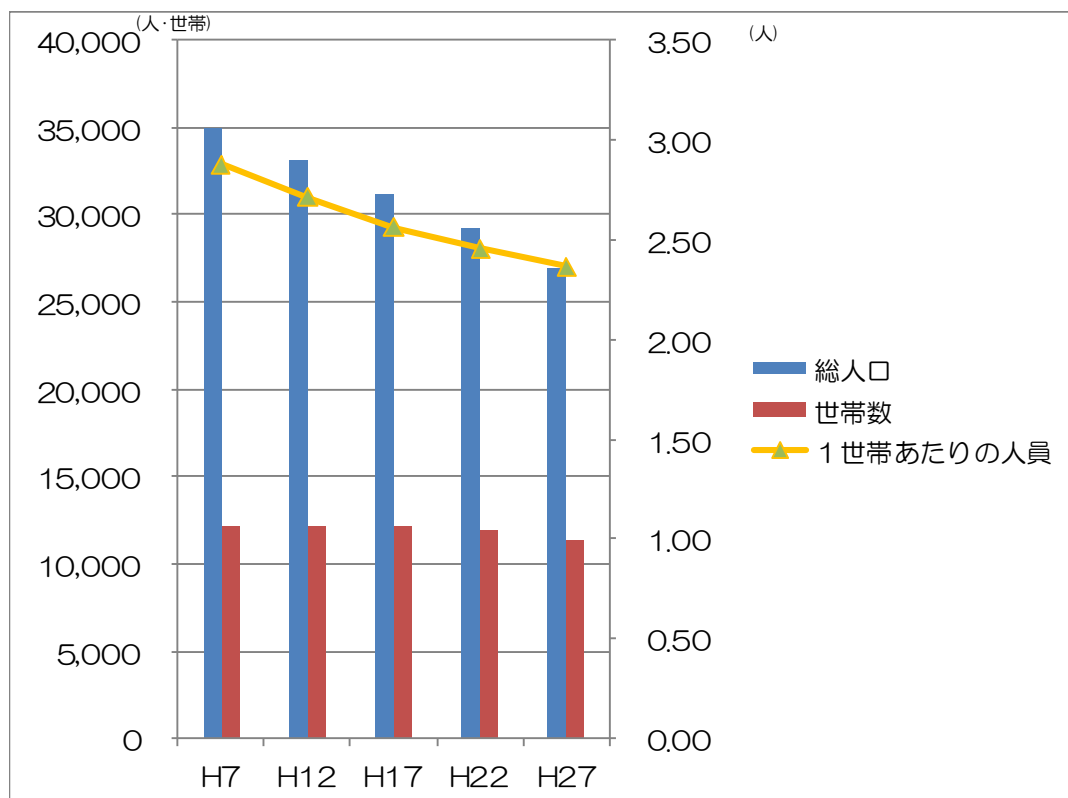
(1) 人口・少子化の現状

平成7年の根室市の人口は34,934人(12,148世帯)でありましたが年々減少し、20年後の平成27年の調査では26,917人(11,383世帯)となっています。人口全体の減少率は22.9%となり、世帯数についても、1世帯あたりの人数が2.88人から2.36人と減少しており、過疎化とともに一人暮らしの高齢者が増えるなど核家族化が進んでいます。

■ 世帯数及び1世帯あたり人員の推移

(単位：人・世帯)

区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口	34,934	33,150	31,202	29,201	26,917
世帯数	12,148	12,222	12,173	11,897	11,383
1世帯あたり的人员	2.88	2.71	2.56	2.45	2.36



※国勢調査資料

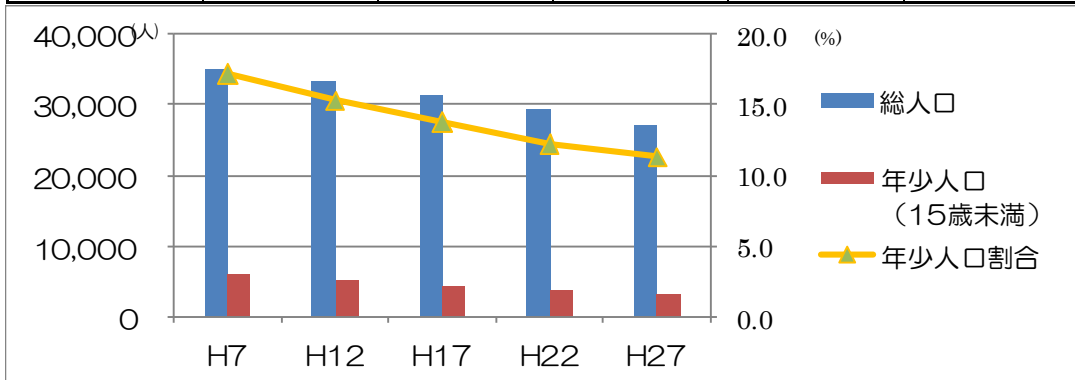
一方、年少人口（0～14歳）においても6,023人から3,033人となり減少率は49.6%と急激に少子化が進んでいます。この要因としては人口の減少とともに、出生数も減少し平成7年では354人でしたが、徐々に減少し、平成27年では187人となり、死亡数を下回る状況となっています。

このような子どもの減少は、地域活力の低下や労働力の低下、また、核家族化や地域のつながりの希薄化など、子育て家庭の環境が変化することにより、出産や子育てに関する親の身体的・肉体的負担の増加が懸念されます。

■ 総人口と年少人口の推移

(単位：人・%)

区 分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口	34,934	33,150	31,202	29,198	26,917
年少人口 (15歳未満)	6,023	5,080	4,310	3,565	3,033
年少人口割合	17.2	15.3	13.8	12.2	11.3

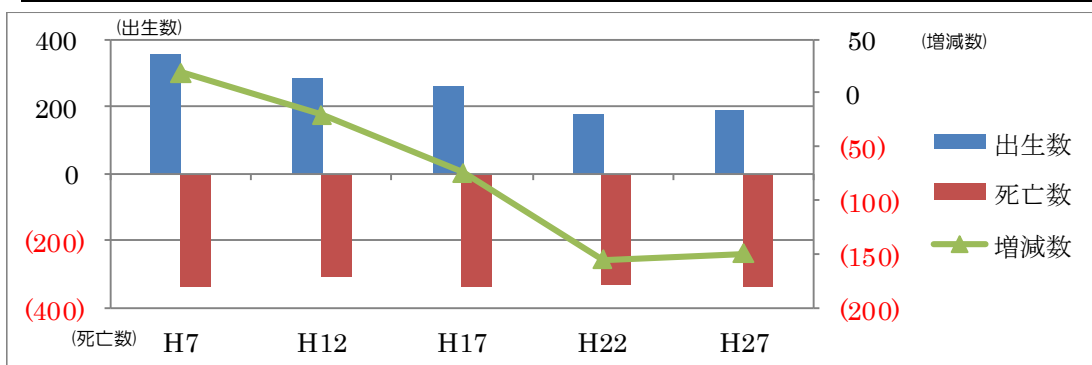


国勢調査資料

■ 出生数・死亡数等の推移

(単位：人)

区 分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
出生数	354	283	258	176	187
死亡数	335	303	332	331	336
増減数	19	-20	-74	-155	-149



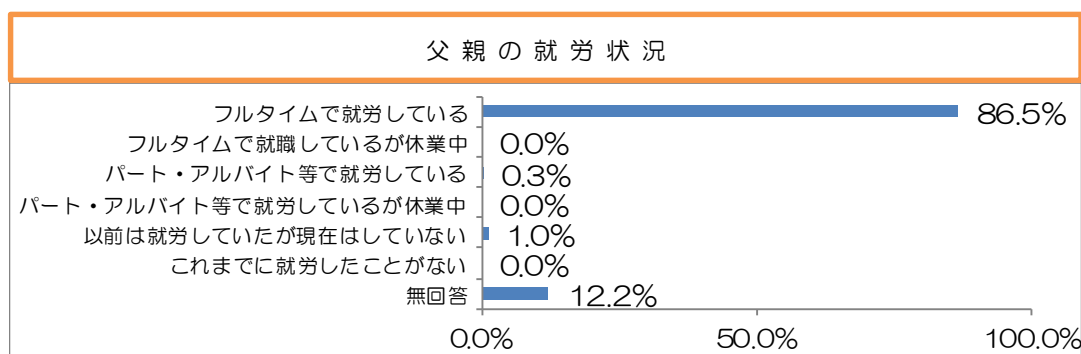
※市民環境課資料

2 子育て家庭の現状

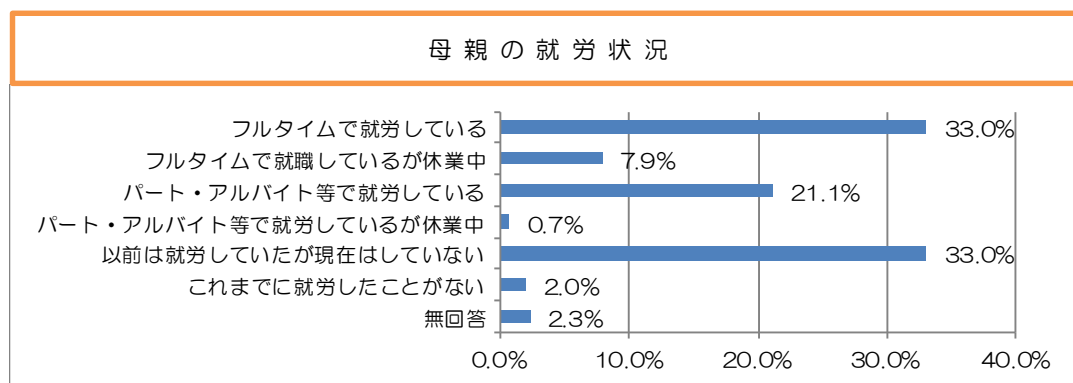
(1) 保護者の就労状況

平成27年の国勢調査によると、根室市の生産年齢人口は15,533人、そのうち就業者数は11,695人(75.3%)で、このうち女性の生産年齢人口は7,704人であり、就業者数は5,154人(66.9%)と女性の就業割合についても高いものとなっています。

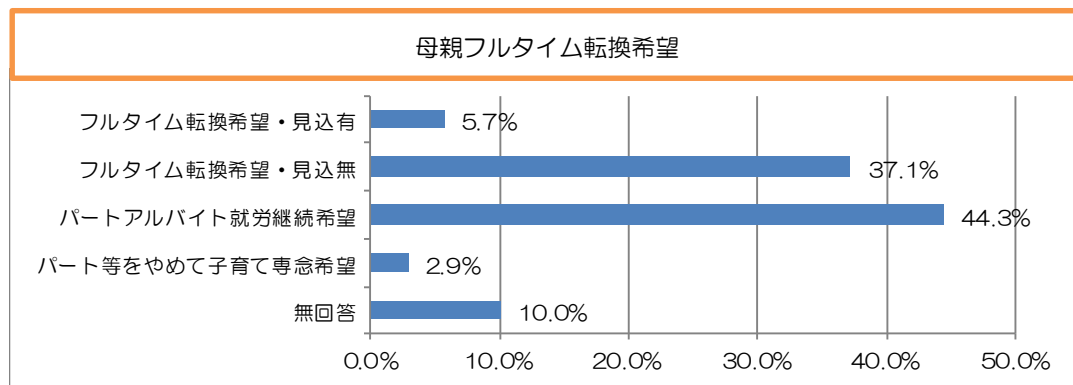
根室市子ども・子育て支援アンケート調査の回答においても、父親の86.5%が「フルタイム」で就労しており、母親は33.0%が「フルタイム」、21.1%が「パート・アルバイト等」の合計54.1%が就労しています。また、「パート・アルバイト等」と回答した母親のうち、就労継続希望が44.3%、「フルタイム」への転換希望が42.8%となっており、母親の就労志向が高いことがうかがえます。



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

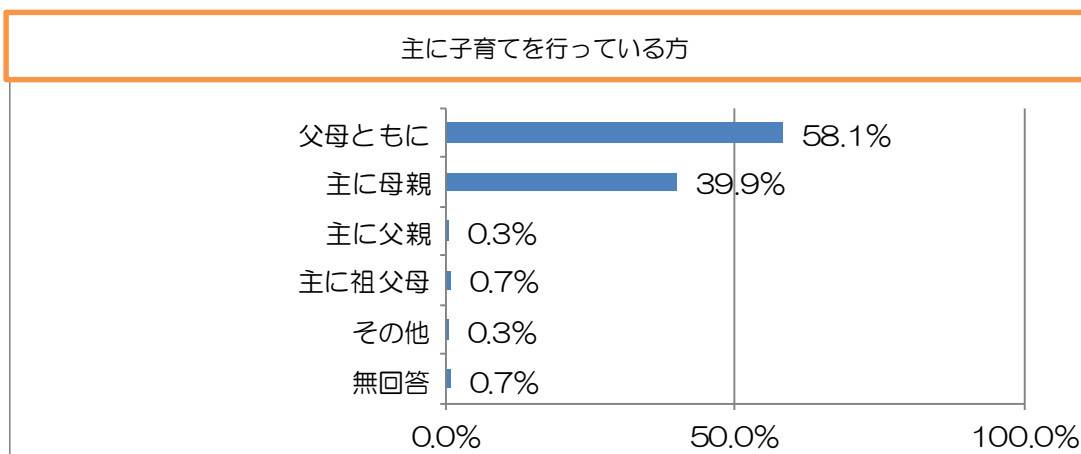


※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

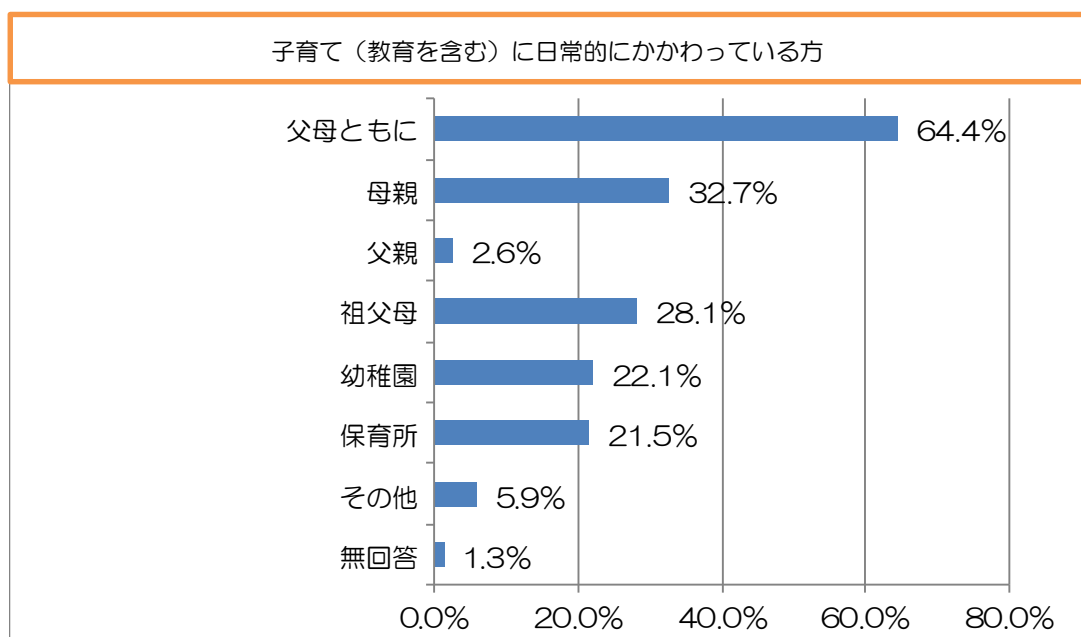
(2) 家庭での子育て

アンケート調査の回答では、「子育てを主に行っているのはどなたですか」との設問に対し、「父母ともに」が58.1%、「主に母親」が39.9%となっており、また、「お子さんの子育て（教育を含む）に日常にかかわっている方はどなたですか」との設問に対し「父母ともに」が64.4%、「母親」が32.7%となっています。

この回答結果から、母親のほか、父親の子育てへの関わりも高くあらわれています。また、「祖父母」の関わりも28.1%となっており、祖父母が同居または、市内に住んでいるなどの傾向がうかがえます。



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料



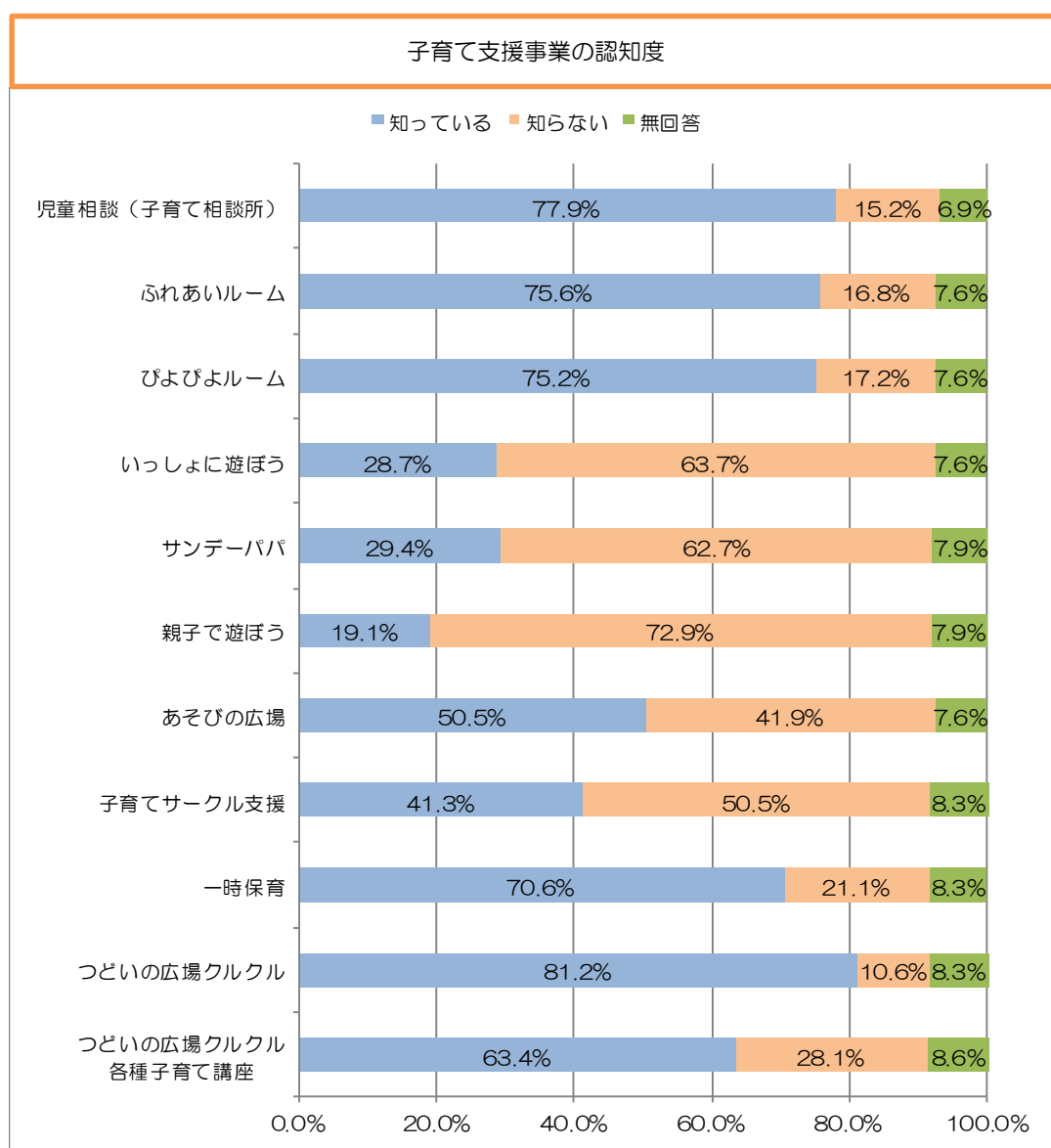
※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

(3) 子育て支援事業の利用

「子育て相談所ぶらんこ」や「つどいの広場クルクル」についてのアンケート調査の回答では、その認知度は、「子育て相談所」で77.9%、「つどいの広場クルクル」で81.2%と高い傾向ではあるものの、利用していると回答したのは14.2%、利用していないが今後利用したいとの回答は14.9%と低く、事業の周知方法の工夫や魅力ある取り組みが必要と考えられます。

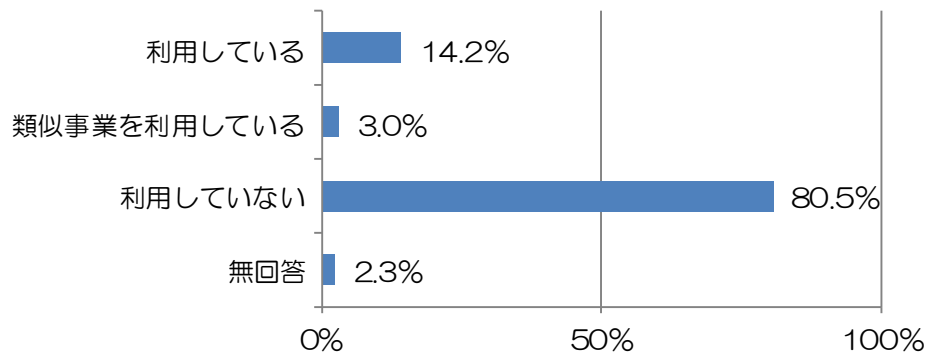
近年、子育て相談所では、障がいをもつお子さんの相談や、支援が必要な家庭の対応も増えてきており、関係機関とも連携した、適切なコーディネート機能の向上が必要となっています。

また、子育て支援の一つとして、市立まつもと保育所で実施している一時保育については、平成26年度より給食の提供を開始するなど、内容の充実を図っていますが、今後の利用数の動向やニーズへの対応など、利便性の向上について検討が必要です。



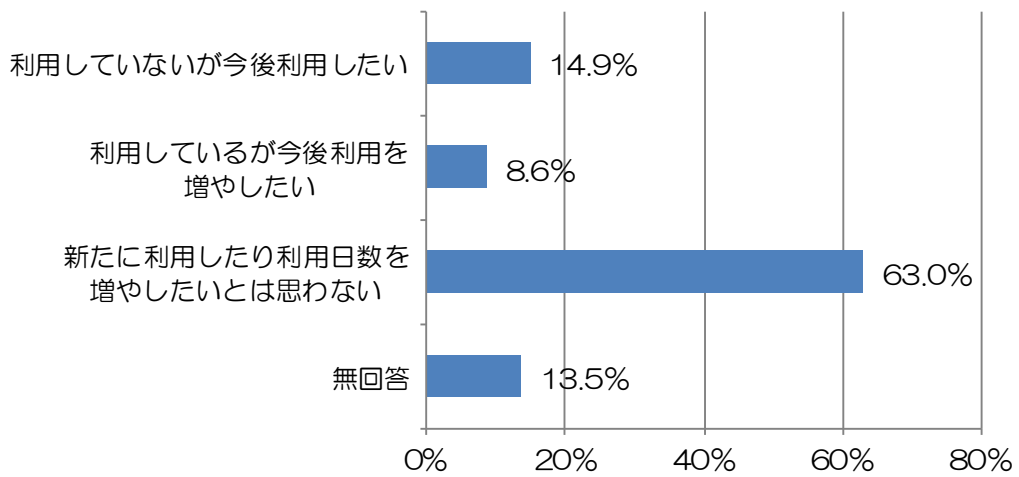
※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

「子育て相談所」や「つどいの広場クルクル」の利用について



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

今後の利用について

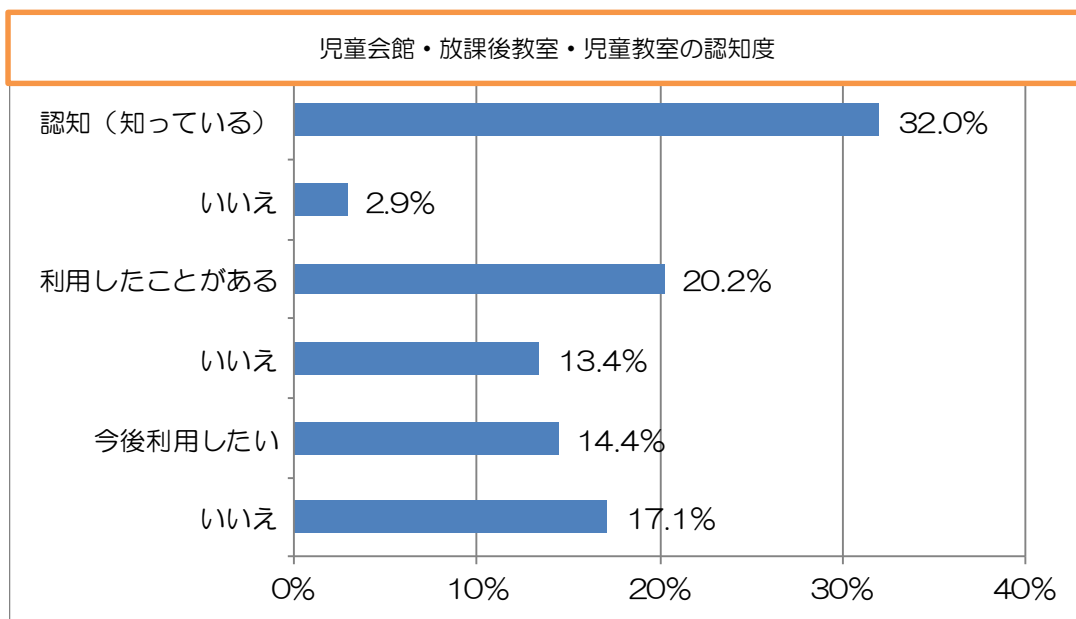


※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

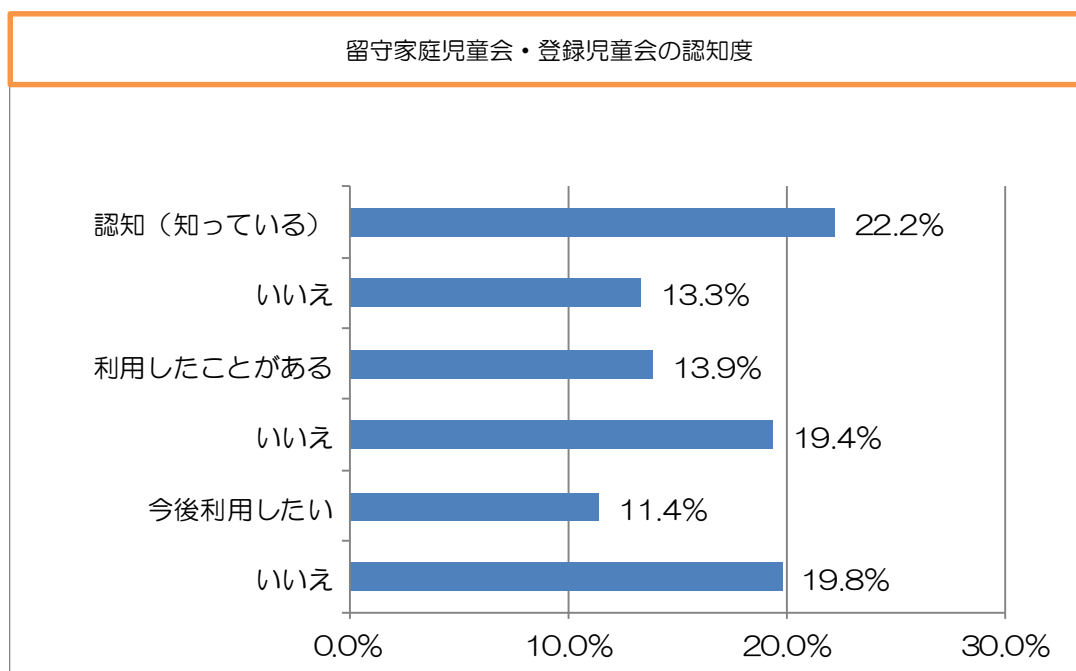
(4) 放課後教室や留守家庭児童会などの利用

アンケート調査の回答では、「放課後教室等」の認知度は32.0%、「留守家庭児童会や登録児童会」の認知度は22.2%と低く、「放課後教室等」を利用したことがあると回答したのは20.2%、「留守家庭児童会や登録児童会」を利用したことがあると回答したのは13.9%となっています。

今後、利用したいと回答したのは、「放課後教室等」では14.4%、「留守家庭児童会や登録児童会」では11.4%となっており、今後も継続的に周知方法や様々な体験学習などへの取り組みに努める必要があります。



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料



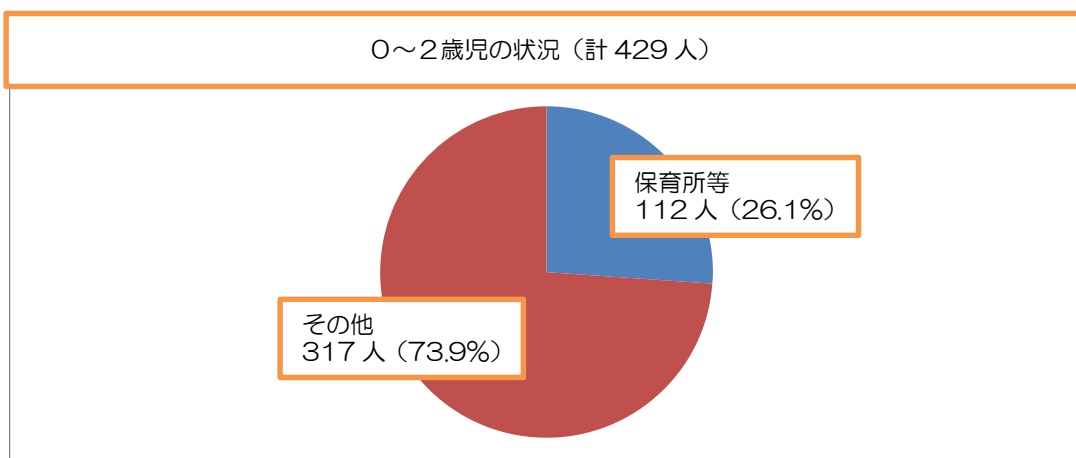
※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

3 子どもの現状

(1) 保育所（園）などの現状

当市においては、未就学の乳児や幼児が利用する施設として、市立常設保育所3カ所、市立へき地保育所2カ所、民間常設保育園1カ所、合計6カ所の保育施設があり、民間の認定こども園、幼稚園については3園が運営されています。

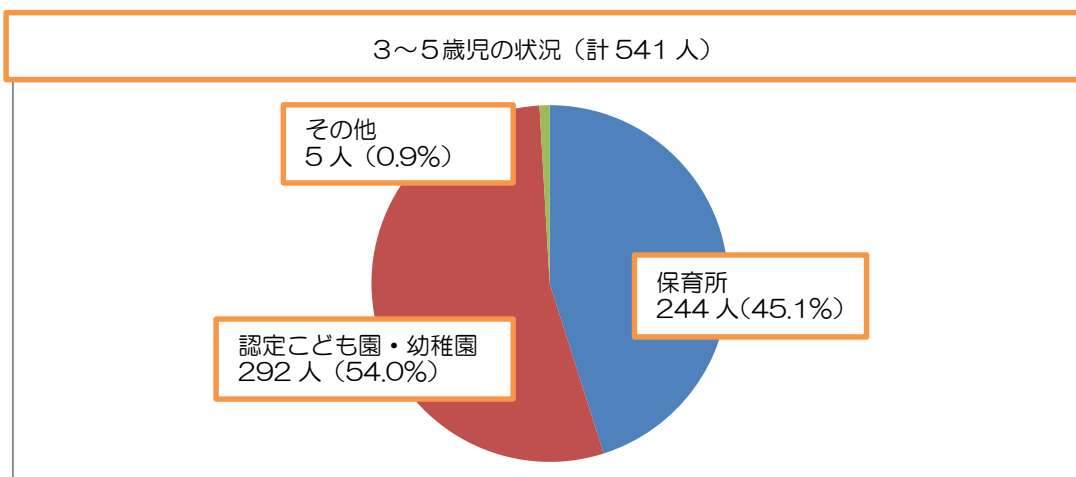
認定こども園、幼稚園、保育所（園）の利用状況は、少子化の影響により年々減少傾向であったが、多子世帯・幼児教育の無償化等の施策により、利用率が増加しており、令和元年5月現在、0～2歳児の人口429人のうち保育所（園）を利用している子どもは112人（26.1%）となっており、その他の子どもは317人（73.9%）となっています。



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

また、3～5歳児の人口は541人で、このうち保育所（園）利用が244人（45.1%）、認定こども園・幼稚園利用が292人（54.0%）、その他は5人（0.9%）となっており、認定こども園・幼稚園に通う子どもが多い傾向にあります。

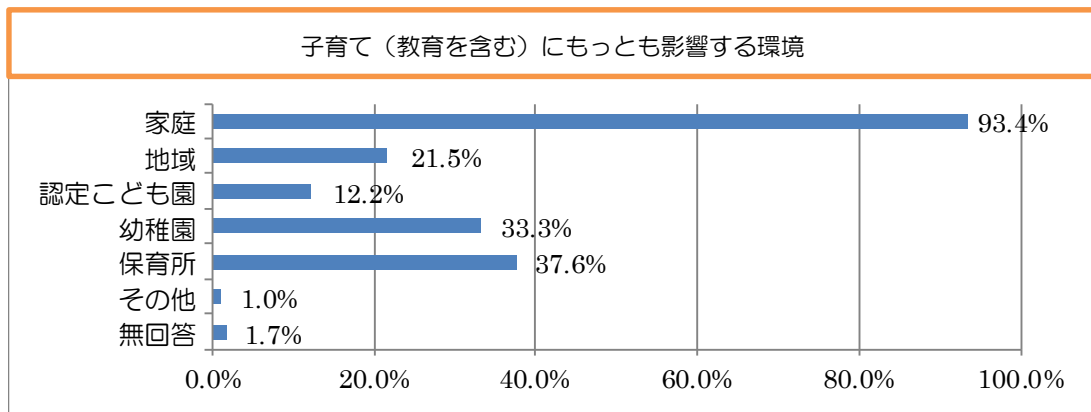
このような数値から、子どもが0～2歳の頃は自宅での子育てが多くを占め、3歳になる頃から、認定こども園、幼稚園、保育所（園）へ通う傾向が高くなっています。



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

保育所（園）・認定こども園に通う児童の対応としては、アレルギーや障がいのある児童、支援が必要な家庭などが増えてきており、多様化するニーズへの適切な対応が必要となっています。

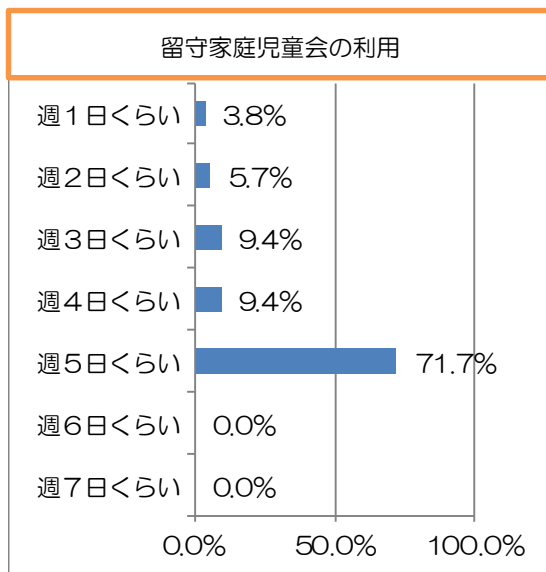
保育所（園）や認定こども園、幼稚園を利用する保護者の視点として、アンケート調査の回答から解ることは、「お子さんの子育て（教育含む）に、もっとも影響すると思われる環境全てに○をつけてください（複数回答）」との設問に対し、家庭が93.4%、保育所が37.6%、幼稚園が33.3%、認定こども園が12.2%となっていることから保護者は、家庭はもちろんのこと、保育所や幼稚園、認定こども園などの幼児教育・保育施設の環境を重視していることがわかります。



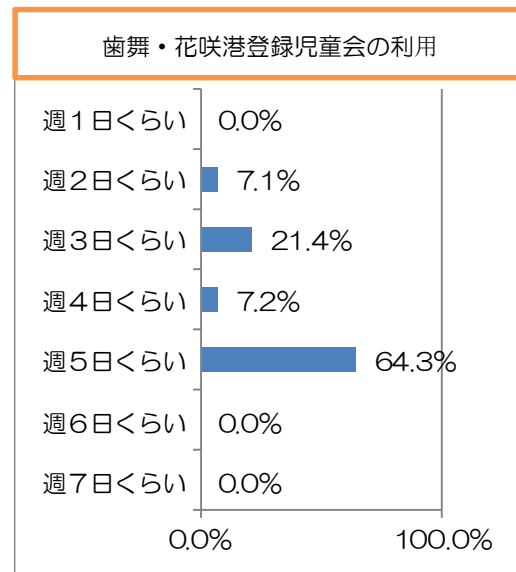
※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

(2) 留守家庭児童会などの登録状況

4つの留守家庭児童会（1年生から6年生）に登録し利用している児童は、令和元年5月現在233人、登録児童会に登録し利用している児童は51人となっており、アンケート調査の回答では、留守家庭児童会の利用日数は、週5日が最も多く71.7%、登録児童会の利用日数も週5日が最も多く64.3%となっており、登録している児童の多くは、毎日のように留守家庭児童会や登録児童会を利用していることがうかがえます。



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料



※根室市子ども・子育て支援アンケート資料

4 母子保健の現状

(1) 低出生体重児の状況

出生数中の低出生体重児の割合は減少傾向にありますが、全道・全国と比べて高い状況にあります。低体重の出生は、健康や心身の発達に影響が及び事があり、親にとってもさまざまな不安や心配につながります。

妊娠・出産・育児期を通じた、母子保健の知識の普及や関係機関との連携を通じた支援により、低出生体重での出生予防や出生後の支援の継続が必要です。

■ 低出生体重児の割合

(単位：出生千対)

区 分	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
根 室 市	124.4	134.0	101.0	105.8	84.2
北 海 道	96.8	97.5	97.1	97.1	93.3
全 国	95.5	95.7	95.4	95.4	94.7

(注) 出生千対＝出生児 1,000 人に対する低出生体重児の割合。

(年間低出生体重児数÷年間の出生数)×1,000

※釧路根室地域保健情報年報

■ 根室市出生数

(単位：人)

区 分	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
出 生 数	201	194	208	189	190

※釧路根室地域保健情報年報

■ 根室市の低出生体重児内訳

(単位：人)

区 分	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
1000g 未満	2	0	4	0	0
1000～ 1500g 未満	1	1	1	1	1
1500～ 2000g 未満	2	3	3	4	2
2000～ 2500g 未満	20	13	13	15	13
合 計	25	21	21	20	16

※釧路根室地域保健情報年報

(2) 妊婦の喫煙・飲酒の状況

根室市の妊婦の喫煙率は年々減少し、全道・全国とほぼ同じ割合になっています。産婦の喫煙率は大きな変化はなく、1割程度が喫煙している状況です。

また、妊婦の飲酒率は0～1%で推移しており、平成30年度では0%となっています。

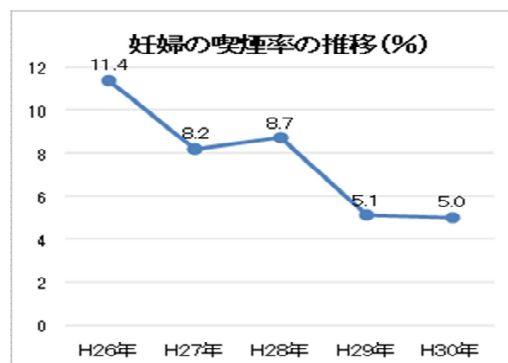
今後も、次世代の健康づくりと健全な育成のため、妊産婦や未成年者の喫煙・飲酒の害について、知識の普及・啓発に努める必要があります。

妊婦の喫煙率（全道・全国）

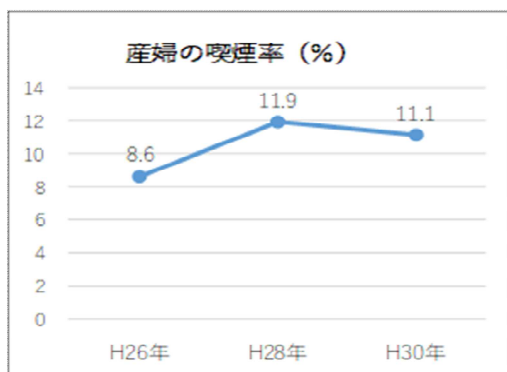
区 分	全 道	全 国
平成 12 年度	—	10.0 %
平成 22 年度	10.1 %	5.0 %
平成 28 年度	6.3 %	—

※全国：乳幼児身体発育調査報告

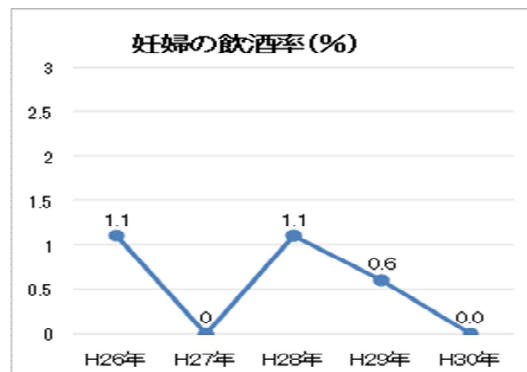
※全道：北海道母子保健報告システム



※根室市保健課統計資料



※根室市保健課統計資料（根室市4ヵ月健診）



※根室市保健課統計資料

(3) 乳幼児健診の受診率の状況

4ヵ月児健康診査、1歳6ヵ月児健康診査、3歳児健康診査の受診率は96%前後で推移しており、未受診者については、家庭訪問や関係機関と連携した取り組みにより全ての乳幼児の状況を把握しています。他に、7ヵ月児健康相談、1歳児健康相談を、子育て相談所や図書館と連携して事業を展開しています。

今後も、乳幼児健診を充実し、各年齢における子どもの成長・発達の確認、注意すべき病気や障がいの早期発見に努めるとともに、事故防止対策や保護者への育児支援の推進が必要です。

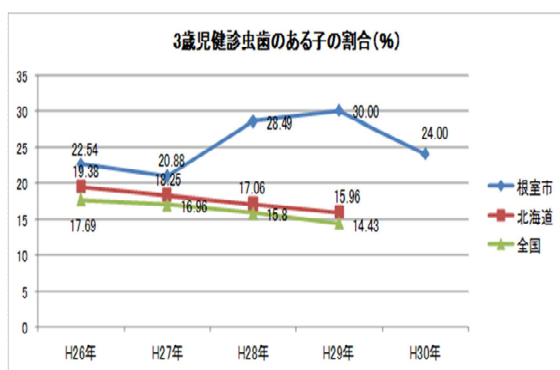
(4) 幼児の虫歯、肥満、食習慣の状況

3歳児健診では、虫歯のある子の割合は全道・全国よりかなり高い状態で推移しています。また、肥満の子の割合については、増加傾向にあります。

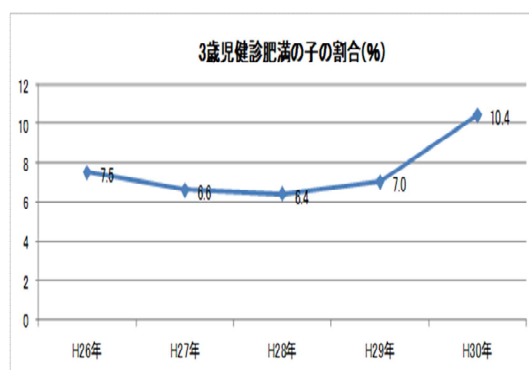
幼児の食事では、朝食の欠食率は3%前後で推移していましたが、ここ数年増加がみられます。3食摂取することは、幼児の成長発達や生活リズムを形成するうえで大切な事であり、欠食率減少への取り組みが必要です。また、間食については、おやつ時間を決めていない家庭やお風呂上り（夜）に甘いものを摂取している家庭が半数程度となっており、このような習慣は、虫歯や肥満につながります。

根室市では、成人の肥満や高血圧・高血糖の有所見者が多くみられ、次世代の健全な食習慣等の生活習慣の形成が、地域の健康課題の解決にもつながります。

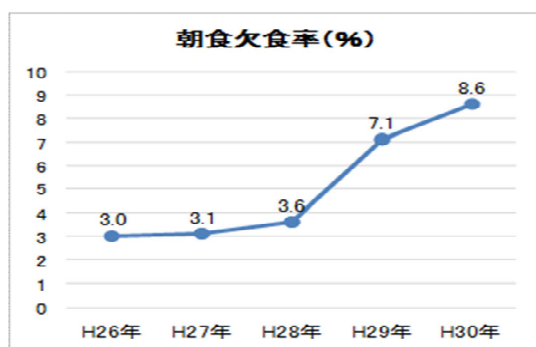
今後も、生活習慣の基礎づくりの推進に努めることが必要です。



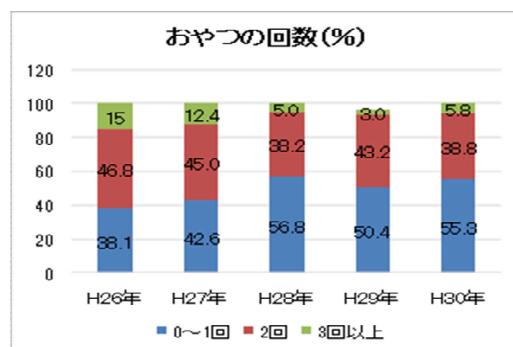
※根室市の数値：根室市3歳児健診統計
 ※全道・全国の数値：釧路根室地域年報
 (H24年度は3歳児歯科健康診査実施状況/厚生労働省)



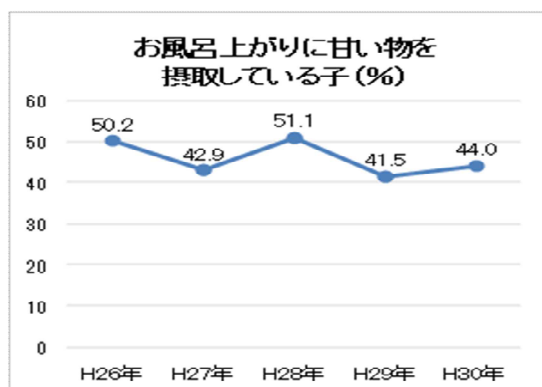
※根室市3歳児健診統計



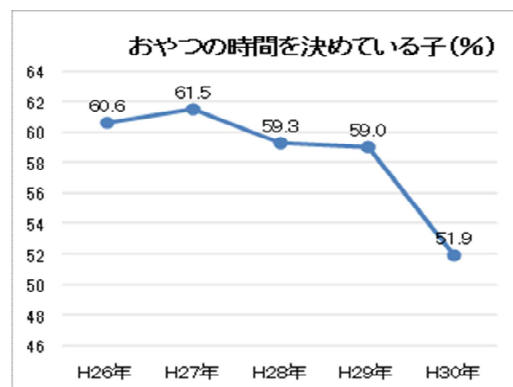
※根室市食育健康教育(保育所・幼稚園)アンケート



※根室市食育健康教育(保育所・幼稚園)アンケート



※根室市食育健康教育(保育所・幼稚園)アンケート



※根室市食育健康教育(保育所・幼稚園)アンケート